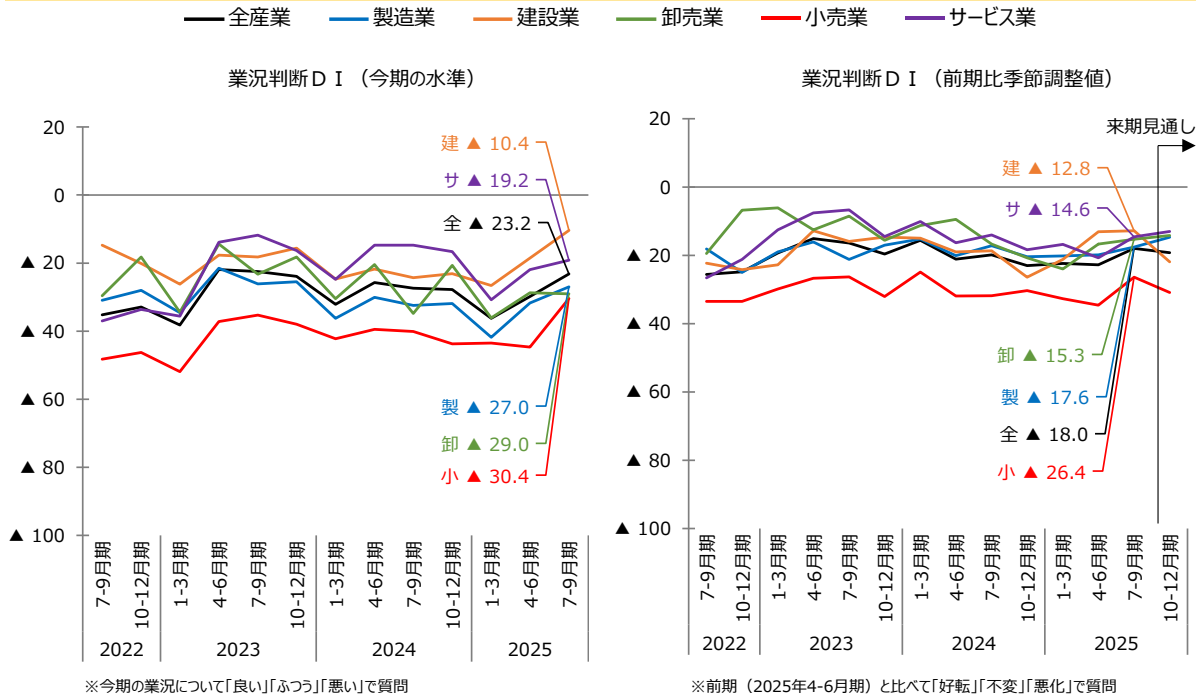


第181回 中小企業景況調査（2025年7-9月期） 東北



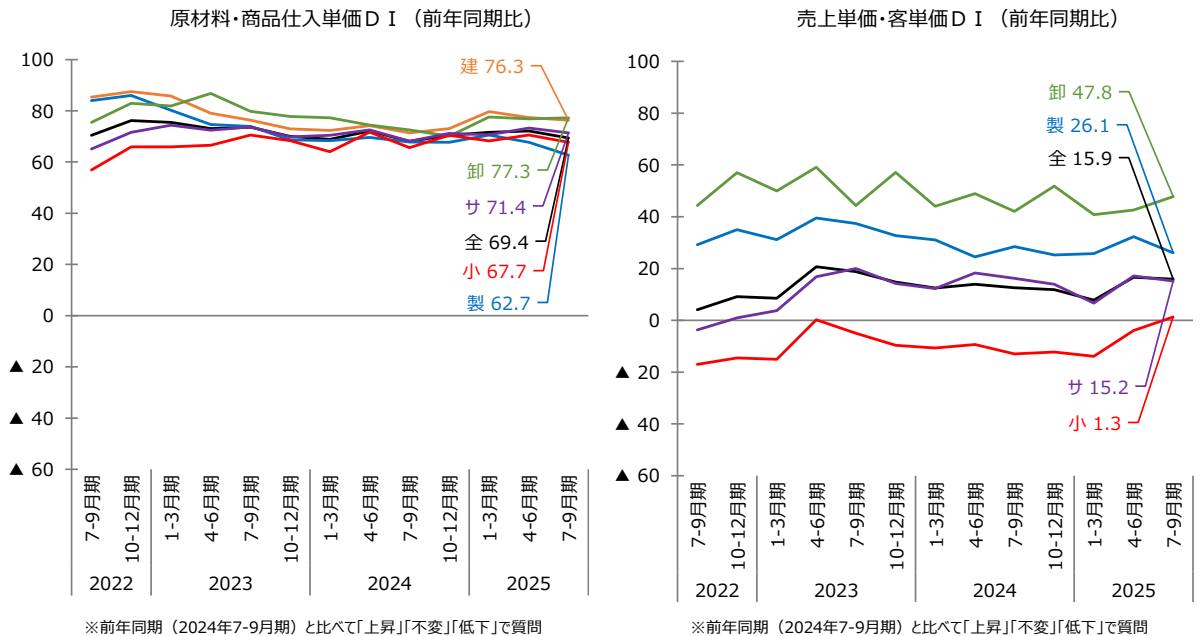
1. 業況感

東北地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2025年4-6月期）より6.6ポイント増の▲23.2と2期連続して上昇した。産業別にみると、小売業、建設業、製造業、サービス業で上昇し、卸売業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より2.7ポイント減の69.4と低下し、4期ぶりに低下した。産業別にみると、卸売業で上昇し、製造業、小売業、サービス業、建設業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より0.7ポイント減の15.9と2期ぶりにやや低下した。産業別にみると、卸売業、小売業で上昇し、製造業、サービス業で低下した。



<調査概要> 調査時点は2025年9月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,826 有効回答企業数：17,956 有効回答率：95.4% うち、東北：1,839企業

※本資料の集計対象の都道府県は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県です。

第181回 中小企業景況調査（2025年7-9月期） 東北

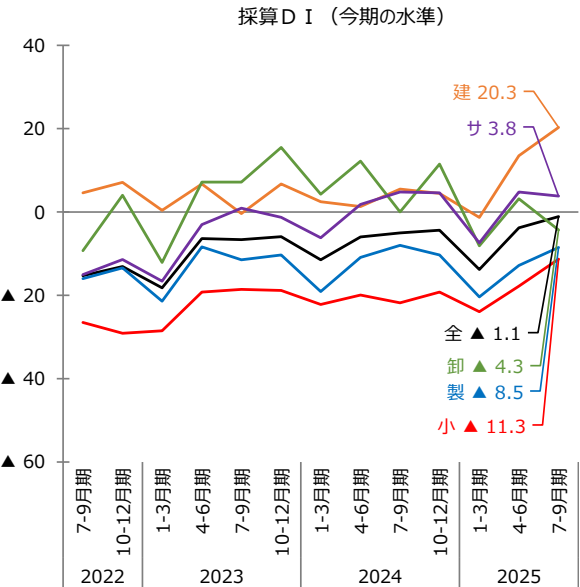


3. 採算

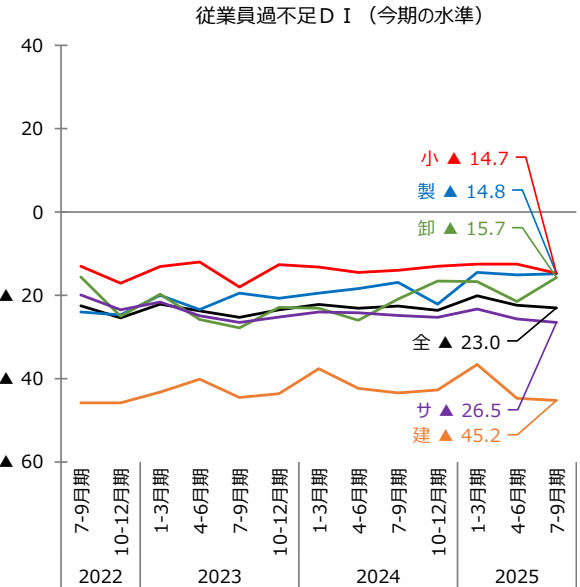
採算DIは、全産業で前期より2.7ポイント増の▲1.1と2期連続して上昇した。産業別にみると、建設業、小売業、製造業で上昇し、卸売業、サービス業で低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.6ポイント減の▲23.0と2期連続してやや低下した。産業別にみると、卸売業、製造業で上昇し、小売業、サービス業、建設業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 東北の中小企業の声

業況判断の背景		業種	
現 状	業績はやや低調であるところ、人材不足にて外注費が増加傾向にあり粗利益を圧迫している。	製造業	看板・標識機 製造業
	公共事業費は前年並みに確保できているが、人手不足は変わらない。熟練労働者の減少から工事作業の効率が落ちたり、新規採用者の人件費高騰、官公需要の停滞と懸念材料は多い。	建設業	一般土木建築 工事業
	売上減少に歯止めがからず、かつ農業従事者の高齢化及び高温により、入荷数量減少が継続しており、仕入、販売とも縮小が続いている。運賃等経費が増加しており業況は厳しい状況が続いている。	卸売業	野菜卸売業
	今期は酷暑の為、早い時期から空調機器が好調であった。お盆が過ぎても注文が来ているので仕事が切れないことがいい。	小売業	その他の各種 商品小売業
	今年度はキッチンカー営業を昨年度より増やしており、経常利益は黒字を確保している。新しくOPENされている店舗&キッチンカーの影響を少し感じている。	サービス業	他に分類され ない飲食店
見 通 し	ホタテ原料不足がとても影響しており、原材料単価高騰、人件費や経費の上昇とともに厳しい状況が続いている。生き残っていくために、自社ブランドの商品開発、新規分野への挑戦が急務となっている。	製造業	その他の水産 食料品製造業
	物価高騰に伴い高額商品（建物新築又はリフォーム）に対する買い控えが顕著に現れてきていると思う。	建設業	建築リフォーム 工事業
	可処分所得の減少による消費低迷で客単価・客数は減少し、生活必需品以外への消費者支出も落ち込んでいる。経費増大により仕入単価が上昇しているが、価格転嫁を行うと購買意欲が低下し、消費に結びつかない悪循環。	卸売業	靴・履物卸売 業
	暑さのせいか、外へ出たがらない人が多く、お盆も客数が減った。物価高のせいもあり、お客様も他へ流れていく。	小売業	食料品スー パーマーケット
	物価と人件費の上昇で利益が悪化している。世の中のニーズの変化への対応が難しい。地元のお客さんが望む店舗をめざして検討して行く。	サービス業	その他の専門 料理店

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)